



みんなが主役 豊岡小

大 楓



平成26年12月3日 No.14

銚子市立豊岡小学校 中西 健

各学校に研究の成果を発信しました！

11月21日（金）に本校で行われた社会科の研究会は、市内の各小学校から参加した約80名の教員に、4・5・6年生の授業を公開し盛會にて終了しました。

本校の研究テーマは「一人一人が主体的に考え、豊かに表現できる児童の育成」であり、サブテーマとして「発信型社会科学習」を掲げ、社会科の授業の中で思考力・表現力を高め、様々な「発信」によって学びを深める授業づくりを追究してきました。「発信」とは、子どもたちが自分なりの表現方法で考えたことや分かったこと、そこからわき上がる思いを目的や相手を明確にして伝える活動です。

この「発信型社会科学習」を追究しようと考えた背景には、学校評価の一環である児童アンケートにおいて、「自分の考えを発表することが苦手」と思う児童が約3割もいるという現状がありました。ですからこの研究は、本校が今年度第一に解決したいと考える課題そのものに深く関わる最も大切な教育活動であり、子どもたちの苦手意識をなんとか克服したいという私たちの強い思いがありました。

実際の授業ですが、4年生は「銚子を開いた人々」の学習で、濱口吉兵衛を中心に銚子漁港の発展に尽くした先人の努力を学び、これからの銚子の漁業を盛り上げるためのプランを考え、ビデオレターにして発信しました。

5年生は、「工業生産と工業地域」の学習において、小浜工業団地内の鋳物工業に関連する工場で、世界一高速のエレベーターの巻き上げ機に使われる精密な部品の製作の様子を見学し、そこから感じた中小工場のよさをプレゼンしました。

6年生は、4月からの歴史学習の集大成として、これからの日本が目指すべき方向を「わたしたちの未来宣言」としてまとめ、シンポジウム形式で発表し討論しました。

どの教室も参観者であふれ、子どもたちもさぞかし緊張するのではと思いましたが、みんな笑顔で生き生きと活動し、活発に意見交換をしていました。子どもたちは私たちが思っている以上にたくましく成長しており、研究の目的が達成された手応えを感じました。

参観された方々へのアンケートでも、「子どもたちは発信する楽しさや充実感を味わい、自分の考えを生き生きと表現していたか」という質問に対して、肯定的な評価が100%でした。自由記述の欄でも、多くの方々に高く評価していただきました。そのいくつかを紹介します。

【授業風景】

子どもたちの活気あふれる話合いや発表の姿に驚きました。一人一人が自分の考えをしっかり持ち、それを友だち同士で互いに伝え合う姿にこれまでの指導の積み重ねを感じました。
(4年生の授業を参観して)



4年生

ふるさと学習と発信という大きな柱に沿ったとても素晴らしい授業だったと思います。子どもたちの意欲的でかつ落ち着いた姿に同僚の先生方とともに感心させられました。
(5年生の授業を参観して)



5年生

子どもたち同士の意見交換の姿に大変感心いたしました。授業を支える学級経営の確かさに加え、子どもたちがお互いに磨き合おうとする姿勢が素晴らしいと思います。これだけの社会科授業を見ることはなかなか叶わないと思います。
(6年生の授業を参観して)



6年生

今まで頑張ってきたことが報われた気がします。

何より、子どもたちのことをこんなにほめていただいたことを本当にうれしく思いますし、子どもたちにもよく伝え、自信に近づけていきたいと思えます。

3年間続けてきた社会科の研究は、これで一区切りとなりますが、この研究で得たことは本校の財産として、これからもしっかりと受け継いでいきます。

最後になりましたが、研究会当日に、お忙しい中、駐車場の整理や参観者の受付などをお手伝いいただきましたPTA総務の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。